

ANNIVERSARY
YEARS

THANK
YOU!

ANNIV-

タグチ
TAGUCHI

ANNIVERSARY
YEARS

vol.27
summer issue
2025

re-create the world
TAGUCHI

タグチグループ公式 YouTube チャンネル好評です！チャンネル登録お待ちしています！
2025年6月2日発行 TAGUCHI 経営企画室 © TAGUCHI INDUSTRIAL CO., LTD

なにげに10年ってスゴくないですか! YEARS ANNIVERSARY

奇跡の社内報『タグチ通信』のあゆみ

全国各地のタグチ社員たちと社内情報を共有しようと始めた社内報。

発行当初はこんなに続くなんて誰も想像しえなかつたはず。

社外の人が読んでも面白い、そんな奇跡の社内報が10年を迎えて……(文・編集部)。



最初から奇跡だった? 社外に配布する、社内報とは。

俗に「十年一昔」と言いますが、いまの時代の世の移り変わりの早さといったら尋常じゃありません。それでも『タグチ通信』、2015年9月の創刊から10年を迎えることができました。隔月・季刊・

ギリギリ季刊という同じ冊子とは到底思えないさまざまな発行スパンで制作し、2022年にいたっては年1冊の発行のみという大干ばつも経験しました。それでもしぶとく発行を重ねることができたのも、読者であるタグチグループの社員とご家族のみなさまのおかげです。この場を借りて『タグチ通信』編集部一同、厚

く御礼を申し上げます。

さて、今号で27号を迎えた『タグチ通信』。現在の編集部は経営企画室はじめタグチグループの選りすぐりの数名に、長年雑誌の編集に携わってきた編集者A氏と、主に関西方面で活躍しているデザイナーのH氏が毎号参加します。そして、この基本メンバーに加えてカメラマン、ライター、イラストレーターなど、さまざまなクリエイターに腕をふるつていただいている。もちろんみなさん、第一線で活躍しているプロフェッショナルたち。だからこそ、『タグチ通信』のクオリティが担保できているわけです。

そもそもその発端は2015年の春に遡ります。同年4月に入社した編集長・田口詠子は密かに社内報の制作を企んでいま

した。当時、タグチ工業には11のグループ企業があり、200名近い社員が全国各地にいました。せっかく同じ会社にいるのに、共通の社内情報を目にする媒体が何もない。

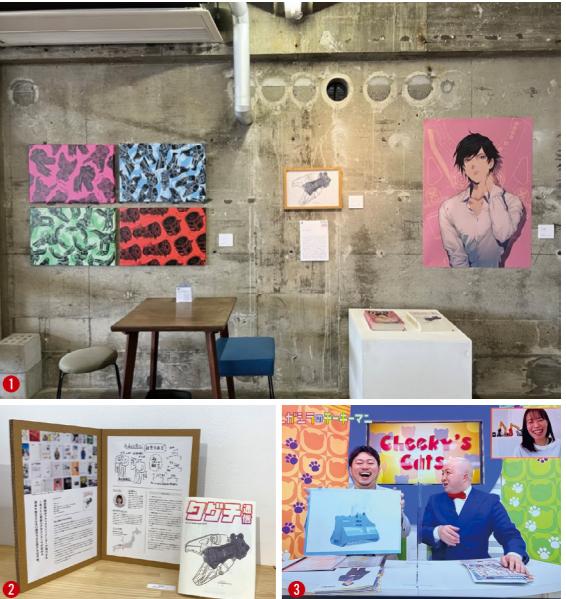
(ここはわたしの出番……?)

WEBサイトを作るという手もありました。が、彼女は「雑誌(情報誌)」のような形態を考えていました。確実に手渡すことができるし、開けばすぐに情報にアクセスできる。冊子の体裁は、クリクリっと丸めてお尻のポケットにでも入れるような気楽なサイズがいい。紙はツルツルではなく、ざらざらでいこう。そんな感じで彼女の妄想は限りなく膨らんでいきます。しかし、肝心なのはやはりクオリティです。

(プロが作ったような、過剰にクオリティの高い冊子を作つみたい……)

そして出来上がった第1号。あまりにも社内報とはかけ離れているよう……

①20号の発行を記念して『タグチ通信展』を県内のカフェで開催。②社外の企画展にお声がけいただき、ローカルメディアとして展示されたりもしました。すごいぞ、タグチー! ③BSよしもとの番組にお呼ばれしたことも。社員食堂でインタビューを受けていたら製造スタッフの子に笑われたことを思い出します。シシガシラさん、優しかった。



でも、面白いから外にも置いてみよう! ということでいきなり社外にも配布することになりました。そして、発行部数は社員数の10倍の2000部に。そんな冊子が許されるのも、またそんな展開が可能なものタグチ工業だからこそ。その後も、マニアックさとエンターテインメント性のバランスは絶妙で、「社員じゃないけど毎号読みたい」との声が全国から届くようになりました(岡山市の図書館にも蔵書されています)。かくして「社外に配布する社内報」という前代未聞のメディアに発展、社内報に新しいジャンルを

確立しました。アタッチメントメーカーというニッチな製造メーカーの社内報ながら累計部数は10万部を超え(P5参照)、全国の書店やカフェ約50カ所で配布されている、それが『タグチ通信』。まさに奇跡の社内報なのです。

が、しかし、です。読み手が社外まで遠く広がっても、そしていくら社外のウケがよくても、タグチ通信はタグチの社員のための媒体です。そのところを忘れかけていたとしたら、編集部に喝を入れてやってください。次の10年も『タグチ通信』はタグチのみなさんとともに!

CHRONOLOGY タグチ通信 表紙年表 「く～っ、そうきましたか!」 読み手の裏をかく、冊子の顔作り。

いかに読者=社員の予想を裏切るか。表紙はそんなマインドでアイデアを毎号捻り出す、いわば大喜利コンテスト。Vol.1~5は特集に関連した表紙案、vol.6からは4号で1シーズンとするルールを確立。クリエイターとキャッチボールしながら制作してきた、一球入魂の制作の歴史。



シーズン1 ➤ CREATOR(発行順):面白法人大ヤック 田口裕一(会長)・山口一郎・赤星豊

シーズン2 ➤ CREATOR:村上めぐみ

シーズン3 ➤ CREATOR:若林邦治

2018

2019

社外の人も読める社内報『タグチ通信』で
核となっているのは、巻頭特集。

創刊当時からどのように
作られているのか?
タグチ通信編集部が
編集長に直撃
インタビューしてみました。



タグチ通信
田口詠子

何 が 美 学 が あ つ て、 何 が 悪 い ?

6号特集



美学

が
あ
つ
て
何
が
悪
い
?

本社の
トイレで使われ
ている商品にまで
触れるなど視点が
細やか。

タグチの製品づくりには随所に美学を感じられる。製品のデザインはもちろん(後にグッドデザイン賞ダブル受賞!)、製造の工程やサービス、さらには会社の設備・備品にいたるまで。それらタグチの美学がどこから来ているのか、なぜ美学にこだわるのかなどを、田口詠一郎へのロングインタビューなどから紐解いていった特集。

作るのが一番楽しいのです。 なにせ、特集主義 ですから。

— 編集長、10周年おめでとうございます。
特集のネタ、切れないですねえ。

ありがとうございます! 視点を変えればいくらでもネタは社内に転がっています。なにせ、変化の激しいタグチなので。ネタが尽きないのも正直なところ。

— ページ数もけっこ変動しています。

そうですね。創刊時は12ページ。一時20ページまで増えてこここのところ16ページで落ち着いてます。総ページ数の増減はあっても、巻頭に特集を配置する構成は創刊号から変わっていませんよ。

— 雑誌みたいですよね。

そう! 冒頭で読者をひっぱりこむこの

溶接マンを救う ストレッチ

13号特集



やっていることは至って真面目だけど、笑いながら楽しく読める。これぞタグチらしい特集のあり方。

特集主義的な構成は雑誌の常套手段なんですね。創刊当時は私ともう一人の社外編集者のAさんと2人ぼっちで編集会議をしてました。私が会社としてまだ掘り下げるテーマをまずはネタ出し。「バケットランド」「製造」「設計」とか「女子」とか(笑)。社員が知りたいと思っ

ていそうなテーマを選びます。そうすると、Aさんがよくわからぬ企画を考えてくるんですね。

— よくわからない企画ですか。
「なるほど、それはそのまま紹介しても面白くないからさ、というかタグチ通信として切り取るならこうじゃない?」と特集の骨格と

なるタグチ通風味の味付けを考えてくれるんです。溶接の仕事を紹介したかったのに、特集になった「溶接マンのためのストレッチ」ですからね。でも結果、ああ、そういう仕事なんだ、と楽しく読んでたら知らず知らずのうちに知つてもらえるというか。

— タグチ通信として……というのは?
最初からこうしようとか思惑や構想があつたわけじゃないんですけど。数号を出したあたりで「ああ、これがこの冊子のスタイルなんだな」と気づいてきたのを憶えています。タグチの美学(vol.6)のあたりでそれが分かつてきただな。

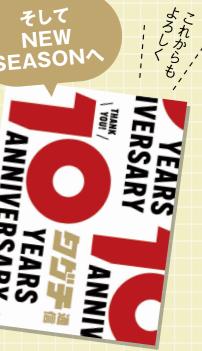
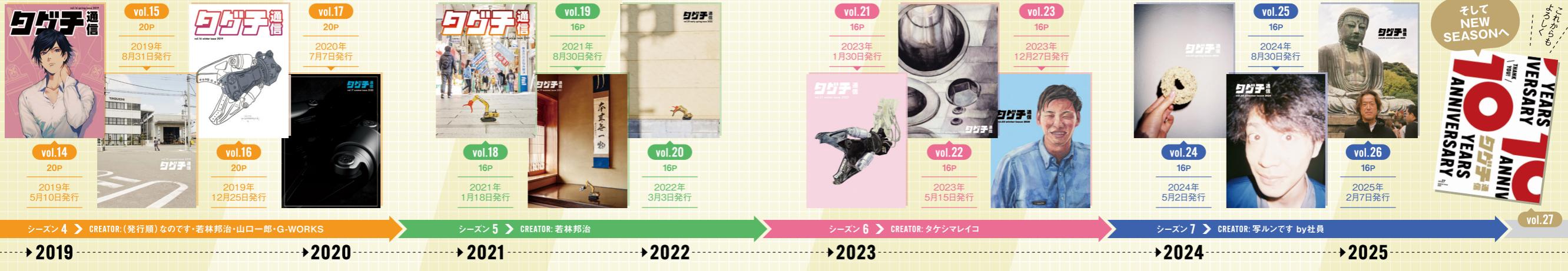
— 今後も特集主義は変わりなく?

そうですね。プロのクリエイターと本気の誌面作りをして、本気すぎる誌面作りで社員を笑わせる……というのも特集制作におけるこだわりのひとつかも。これからも読み手である社員さんが「は〜なるほどね〜!」と膝を打つような特集を作っていくたいと思います。



卷頭特集一覧 | このまま本屋で売れるようなクオリティ。やりたいようにやってます!

	特集内容	部数		特集内容	部数
vol.1	巨大ロボットがお台場にやって来た!	4,500	vol.14	CUTTER PERFECT BOOK	4,500
vol.2	ルボルタージュ/巨大ロボットはいかにして誕生したか。	6,000	vol.15	特許のココロ。	3,000
vol.3	創業者・田口武男 The beginning of TAGUCHI	4,000	vol.16	岡山ピンポン革命	3,000
vol.4	WHAT IS "HOSEMAN"?	4,000	vol.17	タグチ、宇宙へ行くってよ。第二弾	3,000
vol.5	「たかが道具、されど道具なのよ」の道具特集	3,000	別冊①	リクルート特別号	1,000
vol.6	美学があって何が悪い?	4,000	vol.18	君はバケットランドを知っているか?	3,500
vol.7	TAGUCHIグループ刷新会議 事業仕分け	4,000	vol.19	誰しも入社1年目がある。そしてわたしにも、それがあった。PART2	3,500
vol.8	タグチ、宇宙へ行くってよ。	5,000	vol.20	採用戦線、異状なし!	3,200
vol.9	誰しも入社1年目がある。そしてわたしにも、それがあった。	5,000	vol.21	タグチ本社屋 リ・クリエイト大作戦	3,200
vol.10	バケットランドへようこそ!	5,000	vol.22	カッター進化論	4,000
vol.11	TAGUCHIでのれえ~ガールズ。	5,000	vol.23	ザ・解体新書	4,000
vol.12	環境展、その舞台裏。	4,000	vol.24	開発設計部のペールを剥ぐ!	4,000
vol.13	溶接マンを救うストレッチ	3,500	vol.25	スタジオ「SITE V」徹底ガイド	3,500
別冊①	グッドデザイン賞受賞記念 特別号	8,000	vol.26	設計マン、営業マンのためのストレッチ&エクササイズ	3,500



THANK YOU!
10 YEARS ANNIVERSARY

タグチ通信

伝説の コーナー カタログ

冊子の前半は特集。

そして後半は様々な小コーナーが誌面を彩ってきました。
26号を振り返り、過去に掲載していた（一部連載中）
これぞという連載企画をプレイバック。



明日への叫び

上妻宗人

このコラムが掲載されていた当時の最終ページのレイアウト（これは2号）。4コマ漫画があがたり、次回の特集予告をちゃんとしていた頃もありました。

伝説オブ伝説なのがこの上妻副本部長のコラムで、ベテランの営業マインドを学ぶという理想を掲げて企画。毎回、上妻さんからの写真と原稿が楽しみでした。ちなみに、編集のディレクションは全然入っておりません。

2017年発行のvol.7で現会長・田口裕一氏のおすすめ本を初掲載。挙げてきたのは、90年代にコミック雑誌『モーニング』連載の「オフィス北極星」。漫画に精通している編集部員が「なんですか、それは？」と目を剥いた。

会長がマニアック？

まさかの岡山グルメ情報をプロの仕事で

いそさんの岡山グルメ探訪記

vol.14～vol.17掲載 作者:丸山穂子

岡山本社から昼夜覗にギリギリ行って帰れる周辺グルメを紹介。プロのライター“いそさん”に紹介してもらいました。取材に応じてくれたお店の方にも感謝の企画。

知っておいて損はないタグチ共通語解説

vol.2～vol.13・21掲載 作者:野村博愛子

業界語やタグチの社内で飛び交う言葉がさっぱりわからず、新入社員の役に立てばと作ったコーナー。また復活させてもいいなと思っています。

こんなタグ通もありました『別冊タグチ通信』

別冊1 16P 2019年1月25日発行

別冊タグチ通信 グッドデザイン賞をダブル受賞しました！

広報がいく！ 営業所探訪

vol.11～vol.25掲載 作者:田口詠子

広報による当初は普通の営業所紹介コーナーだったのがコミックエッセイ風に変わったのがこの回から。現場の臨場感やタグチのノリが伝わるのか（素材撮影も楽しい！）、なかなか好評でした。

情感あふれる漫画風記事にファン多し？

MY RIGHT HAND WITH G

右 手 が G の 男

vol.7～vol.20連載 作者:赤星豊

2017年1月6日号から始まった連載小説で、ある日目がさめたら突然右手がタグチのカッターになってしまった男の物語。タグチ工業を舞台にしたフィクションだが、実在する人物や商品も登場する。

タグチ通信ができるまで。

奇跡の社内報、タグ通は地道な作業で作られる！

募集会議



楽しい編集会議から開始！

企画



編集部員が集まって会議をするのは立ち上げ時だけ。特集や各コーナーの方針など、ホワイトボードを使って話し合いながら企画を形成していく。最後、まとまりたところでボードをスマホで撮影！

素材を集めています



誌面の設計図（ラフ）を元に取材を進めます。緊張する社員さんがほとんどかと思いつか、なぜか取材慣れの人も。インタビューや撮影後、原稿や写真などの素材をデザイナーへ送って、誌面レイアウトへ。

斬新な視点から会社を見つめる企画

すみっこ鑑賞入門

vol.10～vol.17掲載 作者:内海慶一

「ピクトさんの本」著者・内海さんは取材は楽しい。普段見ている何気ない社内の風景がネタの宝庫に見えてくる。このテーマのほかに、社員の机のデコレーションを追った「デコ」や「取っ手」など。

間違いがないか社内で確認

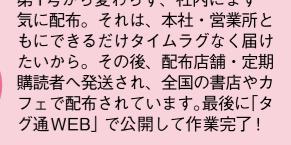


印刷所へ入稿！



第1号から変わらず、社内にまづ一気に配布。それは、本社・営業所ともにできるだけタイムラグなく届けたいから。その後、配布店舗・定期購読者へ発送され、全国の書店やカフェで配布されています。最後に「タグ通WEB」で公開して作業完了！

配布



社内報で連載小説って変わってる？

WEB公開

6

COLUMN 社外にとび出す社内報の評価はいかに!? 社外から見たタグ通って?

自画自賛ではないんですよ。でもこの際だから言っちゃいます。『タグチ通信』、かなり画期的なのです。なにが画期的って、社内報でありながら「社外の人たちにも読んでもらいましょう」というその態度です。じゃあ社外の人たちからはどのように評価していただいているんでしょうか? 大学の先生に聞いてみました。

THEME

社内報が社員に“企業の顔”としての自覚を促す!

『タグチ通信』を初めて手にしたのは、大学に近い海岸沿いのシェアオフィスだった。大手広告代理店が発行するフリーぺーパーのようなインパクトのある表紙から、一見して企業の社内報とは思えなかった。紙面も同様で、色使いや写真の構図など、凡そらしく無い奔放な構成に目を惹かれた。何より企業の情報媒体でありながらそれに終始していない製作者のラディカルな意図を感じて快く思った。

私は、組織や従業員の開発を研究テーマとしている。なかでも、従業員が自らのキャリアを振り返ったり、組織や仕事の意味を再確認したりするプロセスに注目し、それが組織コミットメントや組織への期待にどのような影響を及ぼすのかを研究対象にしている。

一般的に社内報は、組織内の情報を従業員に伝えるためのツールとして活

用されているが、『タグチ通信』は、そうした従来型の社内報とは一線を画すユニークな存在だと感じている。とりわけ注目すべきは、次の二つの特徴である。そしてその特徴こそが、組織と従業員の関係にプラスの影響をもたらす可能性を秘めていると私は考えている。

2 外部への情報発信

もう一つの顕著な特徴は、社内報でありながら社外にも公開されている点にある。企業が自らの情報を外部に発信することにより、以下のような多面的な効果が期待される。

まず、従業員にとって、自身の仕事や職場が外部から認知されること、日々の業務の社会的意義を再確認する契機となりうる。とりわけ、外部からの肯定的な反応やフィードバックは、

活動状況を従業員に伝達することを目的とし、製作側が選んだ情報を整理・編集した上で提供する。しかし『タグチ通信』では従業員自身の声が重視されている。各部署の社員が、自らの言葉で仕事や組織への想いを語るインタビュー記事が多く、従業員の視点が大切にされている。また、経営トップである社長自らがプライベートな志向や価値観を発信している点も興味深い。

このような社内報のあり方は、従来のインナー・コミュニケーション(組織内部における従業員との情報交換)の手段としての機能にとどまらず、従業員のモチベーション向上とエンゲージメントの強化などの効果や、さらに企業文化の形成、組織と社会との関係性構築においても重要な意義を持つものと考えられる。発刊から10年を経た現在、『タグチ通信』が引き続き新たな意義を内包しつつ発展的に継続していくことを期待したい。



今回社外からの評価をきかせてくれたのは?
尾道市立大学 講師 博士(学術)
八木 力俊
やぎ・りきとし

大阪府都島区生まれ、岡山市在住。愛知県立大学を卒業後、現在は尾道市立大学にて特任講師として勤務。専門は人的資源管理、キャリア開発、特に「自律型従業員育成」に注力した研究を行っている。近年では、「産業観光が従業員に与える効果」に関する研究を進め、学会発表や論文執筆を通じて成果を発信。組織開発やキャリアデザインにおける新たな視点を提供し、企業や教育機関の人材開発に貢献している。

1 個人のナラティブ(物語)を大切にした記事構成

多くの社内報は、企業理念や方針、

広告が熱いじゃないか!

気が付けばこんなに



「ロマン」

クサカルゴンの「ゴン」はロマンだったのか?

毎年夏から秋にかけて大躍進している「クサカルゴン」のTV-CMが完成。雑草が生い茂る河川敷で、懸命に草木を刈るクサカルゴンとは対照的にどかな風景が広がる現場。そこにエモいCMソングが流れます。思わず口ずさんでしまう「クサカルゴンCM」、必聴&必見。

SNS上でも「朝からワロタ」「タグチ工業のCMが好き」などのうれしいコメントが。「も、もしかして好感度高いの……!?」と広報の詠子さん(タグチのXの主に中の人が)が嬉しそうにモジモジしていました。

19時台のゴールデンタイムに「クサカルゴン」って聞こえてきてびっくりです。
経営企画室 瀬戸陽菜さん
これがロマン……。



カラオケ風デザインであることは言わずもがな。さあ、みんなで歌ってみよう!
「クサカルゴンのゴンはロマン」篇(15秒)
放送開始:2025年2月18日(火)
放送エリア:岡山県・香川県・鳥取県・島根県

カラオケCMに敗れた……

お蔵入りCMたち、復活!

15秒に合わせるためにセリフをぎりぎりまで少なく調整しています。

ワンキャッチな女



タグチのお蔵入りCM案 SNSでご紹介
その3一家に一台アタッчетメント篇

よくある通販商品っぽく、あえてベタなデザインをしてみました。

一家に一台ワンキャッチ

タグチのカッターよく切れる

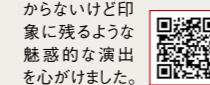
こちらはテレビアニメのオープニング風。かわいく仕上げました。

初めて見た時に、その歌い上げぶりに思わず広報は笑ってしまいました。

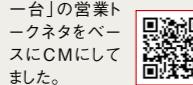
クサカルゴンオペラ



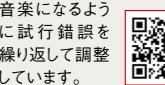
ディレクターから一言 ワンキャッチカタログのデザインに合わせたCMです。何のCMか分からないけど印象に残るような魅惑的な演出を心がけました。



ディレクターから一言 展示会で一般の家族連れ来場者によく言う「どうですか?一家に一台」の営業トークネタをベースにCMにしてみました。



ディレクターから一言 音楽生成AIを使った音ネタCMです。できるだけ耳に残る歌詞と音楽になるように試行錯誤を繰り返して調整しています。



ディレクターから一言 音楽生成AIによる音ネタCM第二弾はオペラ風。クサカルゴンで刈ると「気持ちええ」感じ、表現できています。



第六回 田口博章社長の うろ覚えでゴメン！

『LEADERS リーダーズ』
(TBS / 2014年3月[I]、2017年3月[II])

脚本:橋本裕志 [I] 八津弘幸 [II] 主演:佐藤浩市

時は世界恐慌まだなかの1929年。愛知県の自動織機をつくる会社の常務が、会社の職人たちとともに国産初の自動車をつくるまでを描いたスペシャルドラマ。2014年3月にTBS系で二夜連続で放送され、2017年には第二弾が制作された。同年にはドラマを4時間に再編集した『LEADERS 特別編 ディレクターズカット』が放送されている。

大 学を卒業して日本に帰ってきたのが2013年で、その年の12月にタグチ工業に就職しました。それからホントすぐです、年が明けて総務と一緒に安田工業（里庄町）に挨拶に行きました。一年ほど研修に行くことが決まっていたので、「これからお世話になります」と。最初に配属されたのが生産技術。社内の機械の入れ替えにも携わったし、機械加工もやりました。「焼きばめ」という工具セットを何百も作ったり。安田工業のスタッフとしてお客様のところに修理に行ったりもしました。知らない間にものづくりの世界に放り込まれていたわけです。そんなときに見たのがこのドラマだった。

ものを作るって素敵だと思いましたね。日本を走る車は日本製じゃないとダメだ、そんな使命感のもとにメイカーのいろんな人たちがひとつにならってものを作り上げていく。もう見ていて胸が熱くなってきた。

モデルは完全にトヨタです。ドラマではなんていう会社名だったか、とにかくトヨタをモデルとした自動車メーカーの社長が主人公です。演じているのは佐藤浩市。彼のまわりにいろんな人が関わってくる。技術者や責任者だけでなく、車を届ける人間である販売の社員も出てくる。たしかに（えなりかずき）がいたかな。なんですか、やっぱり！ とにかくエンジンを作

るのに苦労していたのが印象深いです。ホント、これができると未来がないというくらいに死ぬ気になってエンジンを作ってるんです。それができたらできたであります。そんなことの繰り返しです。彼らの苦労を乗り越えていく姿に、ものってひとりの思いだけでは作れない。思いに感化されて血をたぎらされた人たちがいてはじめで作れるんだな。

ビデオに撮って、2回見ます。でも3回目はどうだろう。いま見ると、そのまままっすぐ受けとらないかもしれない。ちょっとうがった見方をしたりして。でも、当時はまだ20代前半、ピュアでしたからね、素直に感動してました。



カフェバーの夜を彩る イギリスの御三家

80年代の時代の寵児のひとりに空間プロデューサーの松井雅美がいる。雑誌によく登場していたし、『11PM』だったかテレビ番組でも何度か顔を見たことがある。この人、とにかくビジュアルが抜群で、トレンディドラマに出ていた役者よりもよっぽどおしゃれでカッコよかった。まさに時代のカルチャーシーンを象徴するような存在だった。そんな彼が手がけた店舗に西麻布の「レッドシューズ」がある（現在も青山に移転して営業中）。80年代のカフェバームの先駆けとされる店舗である。



『エデン』ベン・ワットとトレイシー・ソーンのふたりのユニットがエブリシング・バット・ザ・ガール。結成時、ふたりは同じ大学に通う大学生だった。その後結婚、家庭を築いた後もアルバムを出し続ける。60代の現在もバリバリの現役。

さの相性がよかったように思う。ジャンルではポップスでもちょっとけだるい雰囲気をかもしているジャジーな曲がとくに夜のカフェバーとの親和性は高かった。あの時代、カフェバーにいる若いカップルの多くはいまの時代と違って下心がありありだったから。いや、絶対に。

そんなわけで、夜のカフェバーで見事にマッチしていたトップ3を挙げると、筆頭はシャーデー。アデュのちょっとハスキーな歌声とシンプルかつ洗練されたムード的な演奏が特徴のシャーデーはカフェバーのために生まれたかのよう。2位はスタイル・カウンシル。ジャム解散後にポール・ウェラーが作ったユニットは、とくに初期はよりジャズに傾倒していくおしゃれ度は抜群だった。そして3位がエヴリシング・バット・ザ・ガール。デビューアルバム『エデン』をあらためて聴いみたけど、まったく古くさくない。そしてトレイシー・ソーンの歌声は、すぐさま80年代のあのとき、あの頃にタイムスリップする装置、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』の銀色のデロリアンと化すのであった。



イラストレーション／村上めぐみ

クリエイティブ部門の挑戦記録

G-WORKS REPORT

MISSION 01 | 制作班出動！ショートムービーでタグチを世界へ発信せよ



「もっと多くの人にタグチ工業の魅力を伝えたい」

そんな思いから始まったショートムービー。その制作と配信を担当しているのが、わたしたちG-WORKSなんですね。配信は毎週月曜日。製品紹介はもちろんのこと、アタッチメントが実際現場でどのように使用されているかを見せたり。また、展示会のレポートや社員の紹介まで、タグチグループにまつわるい

ろんなことを動画で紹介しています。

制作にあたっては、社内の会議で何をどう発信するかをしっかり話し合います。それぞれの製品のスゴさや使いやすさをわかりやすく見せるだけでなく、タグチ工業の“ものづくりへのこだわり”が見えるような、そんな映像づくりを心がけています。そして大切なのが配信のタイミングです。誰に何をいつ伝えるのかというタイミングは重要です。そこは会議でも話し合って綿密にスケジューリングしています。

POINT 01 これらの動画は営業用の

音と映像で魅力を伝える

「ATTACHMENT SOUNDS」シリーズは、製品の現場での作業音の生音をASMRとして聴いてもらう新企画。迫力あるサウンドを体験して欲しい！



POINT 02 ものづくりの現場を体感

バーチャル工場見学シリーズは工場設備の紹介や製品が作られる様子をリアルに紹介。タグチのものづくりへのこだわりをアピール。



POINT 03 働く人の魅力

スタッフへのインタビューと働く現場の動画を使って、タグチで働く人の魅力も知ってもらえたならな。

PROFILE



G-WORKS
安藤 駿哉

動画制作を通じて
タグチの魅力が倍増しています。
皆さま見てください！

**G-WORKSによる
動画をチェック！**



TikTok YouTube

1 REPORT

**新型が登場
型式に付く「H」とは?**



今回登場したクサカルゴンの新型の型式はKSではなく「KSH」。Hの由来は、端（はし）＝“HASHI”）の……

Hらしく、画像でわかるように、フレール爪がブラケットの端の端まで、隅（すみ）の隅まで配されているのです。社内での通称は「スミカルゴン」。もっと壁際や障害物の隅まで刈れるクサカルゴンが欲しいに違ない！という開発コンセプトのもと、ついに初号機誕生となった「KSH-32-2」。どうぞお試しください。

安全性・施工性の向上の証
NETISマークが付いています。



2025年新製品情報、紹介しちゃいます

世界最小クリックヒッチに違いない！※当社調べ

OC-05EHP-PC

**ミニクラスの完全油圧式
ワンキャッチプラスが登場**

完全油圧式ワンキャッチはどこまで小さくなるのか？本体とアタッチメントを合わせても、1トン以下と軽量なのでエレベーターでの運搬が可能。つかむ・壊す・切る・ちりとりの一連の作業で、内装解体・ビルや駅、デパートなどの営業中施設の一部リニューアルなどに役立ちます。



CSB-05-HP

「ちりとりも作ろうか」という会長の言葉から生まれた製品。構内をキレイにするならこの子。



DF-05SC-EHP

小さくてもツインシリンドラでパワフル圧碎。ミニシリーズのDF大割カッターから最小クラスが登場。こんなに小さいのに旋回までするなんて……。



GV-05SC-EHP

ロングセラーのグラスパーの最小クラスも登場。こんなに小さいのに旋回までするなんて……。

**草刈りシリーズ登場!
クサカルゴンシリーズの
進化が止まらない!**



リモコン旋回式や
ワンキャッチ対応など
ラインアップ増
**クサカルゴン スリム
HM-32SC-2(P)**



リモコン旋回(SC)式や新クラスが登場。超コンパクト設計なのでガードレール下もお手のもの。石などの飛散を防止するためのチェーン付モデルも。

CSPI-EXPOより先出し!

ツース交換式の
SPシリーズ、
ついに本格展開です

D-412S-SP-HP
D-412S-SP-HP

すべてのメンテナンス時間を半分に。タグチオリジナルの焼き入れレシピで製作した専用ツース搭載。これまでの溶接タイプのツースよりもなんと2倍以上長持ちするのです。



大型油圧ショベルに対応

45tonクラスの
完全油圧式
ワンキャッチに対応

**全旋回グラスパー with マグ・ゴン
GV-402SFM7A-HP**

マグネットのラインアップ増。改良＆新型として発表されたのが、こちらの全旋回グラスパー with マグ・ゴン。ニューコントローラー搭載で首振りグラスパーにマグ・ゴンがくついたモデルのラインアップも。



省スペースにも
刈り込めちゃう

**新型
クサカルゴン**

ショベル1台で安全に素早く除草することができるちゅう製品に新型登場。

2 RECRUIT

**タグチグループ2025年度入社式
新たな力が集結**

2025年4月1日(火)、入社式が執り行われました。今年は8名の新入社員がタグチグループに入社。田口社長からは「世界一の建機アタッチメントメーカーを目指す。今いるメンバーに新しい力が加われば達成できることはない」と力強い祝辞をいただきました。P.14のかわら版では新入社員を紹介しているので是非ともチェックを！



玄関前で記念写真♪ 活躍に期待が高まる一日となりました。

before



after



新工場の
全容が
明らかに

3 NEWS

**名古屋工場に新工場を増築
事務所機能も移転**

グラスパーのミニクラスをメインに製造しているタグチ工業名古屋工場。この度、5月27日(火)に事務所機能を持つ新工場が竣工されました。バケットランド&ホースマン名古屋のすぐ横に建った新工場は加工工場として稼働します。名古屋工場は今後も、改築計画がありますので注目です！

名古屋は……暑いんです。
お披露目を兼ねたイベント
は秋に開催予定！



タグチ
最大規模の
自社工場が
今秋にはお披露目
イベントも予定。

5 NEWS

**あの大山工場を超える、
タグチの最大拠点が誕生**

2025年5月26日(月)、油圧シリンダ等を製造する新工場を竣工しました。岡山県内の4工場に分散している機能を9月にも集約し、主力製品の要である油圧シリンダ製作を強化します。初の塗装ロボットや自動搬送装置(AGV)を導入。DXと物流自動化で省人化・生産性向上の両立を目指します。



平井県知事、
ありがとうございます。



ダジャレ知事として
名高い平井知事と田口社
長のツーショット。

6 REPORT

**鳥取県知事からダジャレ
もらっちゃいました**

2025年1月末に鳥取県の平井知事から、企業版ふるさと納税に対する感謝状とともに……「タグチ工業に未来をタグチ(託)します。アタッチメントで明日タッチ！」というダジャレを頂戴しました。

社員交流用

タグチなんでもかわら版

タグチで働く社員の皆さんをもっと知りたい！ タグ通編集部の勝手な思いから生まれた、タグ通発の社員情報ページです。社員の皆さんの近況や、ものすごく些細なブチ情報を届けます。情報提供もお待ちしています！

総務部

きまぐれ社員紹介

4月は出会いの季節。

今年もタグチにフレッシュな仲間が加わりました！ 元気いっぱいの新入社員8名をご紹介します。これからどうぞよろしくね。

営業部

かわさきこうよう

川崎光陽さん

- ①2002年9月29日 ②サカナクション大好きです！ ③岡山イオンに買い物（デカすぎる……）④ラーメン・ビリヤニ ⑤5年前のあなた、だいぶたがってるよ。 ⑥何に対しても諦めない強い心を持っています！

営業部

かわさきこうよう

栗岡 遼さん

- ①2002年9月3日 ②食べ歩き・野球・卓球・バレー③海外旅行④ラーメン・臓物系⑤先輩や同期の名前は覚えた？夢に向かって健康第一で頑張りよ。⑥皆さんと同期一同で日本一・世界一を実現したいです！

製造部

にしおそうき

西尾奏輝さん

- ①2006年8月22日 ②映画③市内を散策④ラーメン⑤毎日を楽しんでください！⑥外でプラプラ遊ぶのが趣味です。美味しいご飯屋さんを見つけることも好きです。これから一生懸命頑張ります！

システム部

ますなりはやと

増成寅人さん

- ①2000年12月8日 ②読書③モンスターハンター④辛いもの・カレー⑤趣味が充実した日々を過ごしていますか？ ⑥趣味が読書のインドア派。面白い本を読みたい！と思った方は自分に聞いてみてください。

名前 フリガナ
①誕生日
②趣味・特技
③最近ハマっていること
④好きな食べ物
⑤5年後の自分へ
⑥自己PR



新入社員の自己紹介、ぜひチェックしてみてください！

入社式の後は集合写真と個人写真の撮影にGO。皆さんには撮影の合間にタグ通に掲載用のアンケートを書いてもらいました。



すごく若く見えるが実は65歳。いつもスーツを着ている宇宙サラリーマン。

勝楽 菜々子さん

麻辣湯が気になって仕方ない今日この頃…おすすめのお店があれば教えてください♪



採用担当 勝楽の

Staff diary by Katsuraku, an employee of the Personnel Department

大事日誌

意外と謎に包まれている人事や採用の仕事。今回は23卒インタビューの裏話をご紹介。人事日誌をのぞいてみましょう。



（になってしまった）のに、いざインタビューとなると、言いたいことがありすぎたです……。まだまた伝えきれないでの、次回再チャレンジします！

採用活動では饒舌になりました

お馴染み勝楽です

新卒サイトでも動画公開中！ぜひ見てくださいね。



営業部 後藤です
堂々としている様に見えます。



Bレ名古屋 山下と申します
先輩に見られながらの
緊張しましたが「アフ

EDITOR'S NOTE

編集部だより

迎えました！ 10周年
これからもヨロシクね。



編集長（タグチリーダー）
田口詠子

タグチ通信が創刊から10周年を迎ました！過去号の内容が気になる人は広報まで問い合わせくださいね。



福岡市美術館
経営企画室 室長
石井 愛子

数年前に入手した日本のBEST美術館100リストを元に巡回中、珍しく撮影可の作品に出合いました。



家族旅行!
CS大臣 立花 知子
おめでとう！



KEIKI GIRL SETO
瀬戸 陽菜
幸せ大遠征

年末越しライ

2 DAYSからの福岡1DAYの大遠征

は幸せすぎました



KEIKI GIRL SETO
瀬戸 陽菜
おめでとう！
タグ通フヘン
金本 穎惠
愛娘の入学式に行ってきました。じいじと並んで歩く姿を見て成長を感じ。ぐんぐん伸びた背が頼もしい！



アザラシ?のカップ
WE担当 大島 孝志
おめでとう！



WE担当 大島 孝志
家系ラーメン
おめでとう！
採用担当 石床 健
誕生日にいただきました。パッケージの絵はアザラシですが、単品で見るとアザラシ…かな？ 可愛いです。

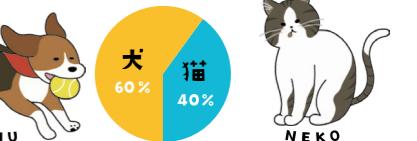
どっち？ タグチ！

好きなのは

犬

VS

猫



今回は定番の二択！ タグチでは若干犬派が多いようです。好きな理由としては「遊べる／かっこいい／健気」、一方の猫派は「気まぐれさが魅力／世話がしやすい」など。どちらも共通したのは愛犬・愛猫とのエピソードに加え、やっぱり「かわいいから！」でした。

祝・タグチ通信10周年

周年記念ロゴを作ってみました

シ表紙小話

THANK YOU!
10 YEARS ANNIVERSARY

関西で活躍するエディトリアルデザイナー、chica(チカ)さん。周年にタグチレッド・金のロゴで華を添えてくれました。タグ通のデザインの好評価はすべからく彼らの力量によるもの。

教えて！ おうち時間の過ごし方 vol.07

休日は外で過ごしてリフレッシュ

僕のおうち時間は休日キャンプ。キレイな水が流れる川辺や富士山を眺めたり、焚き火を眺めてゆったりと過ごしています。食事はもちろん自炊！ 好きな材料で自由に作るキャンプ飯は美味しいですよ。

CS部 パケットランド静岡

山下啓太さん

タグ活

複数でも1人でも。
部活や推し活まで。
タグチの気になる活動
(=タグ活)を
編集部が紹介！

開発設計部 戸田雄士さん

2年前からボルダリングを始めて今では週1で通っています。全身を使って良い運動になります。ホールドと呼ばれる石の形状や配置で登り方や体の使い方が変わるので頭も使います。そこが一番の醍醐味！

銀メダリストの方に
お会いしたこと！

14

15